

学校の自己評価に対する評価

4…適切である 3…概ね適切である 2…適切でない部分が目立つ 1…根本的な改善が必要

お名前 ()

No.	項目	R2後期	差	R2前期	総合評価	関係者評価	学校の自己評価への委員評価をお願いします。	
小中連携防災教育	1 東中職員として、常に防災安全に係る安全配慮義務を意識した教育活動を行っている。	3.3	0.1	3.2	3.8	3.5	3.9	4 適切である 3 概ね適切である 2 適切でない部分が目立つ 1 根本的な改善が必要 ・災害時の避難拠点として指定されていることもあり、物資も含めてよく準備されていると思います。 ・すでに「段ボールベッド作り」体験、新宮東中学校が台風10号避難所として開設されたときにこの段ボールベッドが、活用&実査に使われたことで、生徒のみなさんは貴重な体験になったと思います。 ・身につけた「段ボールベッド作り」を各行政区の公民館や集会所で住民に披露してほしいと思います。いつでもどこでも発生する可能性のある自然災害に備え、今後も生徒のみなさんが積極的に防災・縮災の取組をご指導お願いいたします。 ・東中校区の防災教育の中核として取組を進めていただきありがとうございます。生徒や教職員の取組の様子や先進校より学んでくださっている内容を町全体へ広めていただきますようお願いいたします。 ・学校生活の中だけでなく、普段の生活の中でも防災や減災、自助や共助、控除についての関心が高まっており、平素の教育が意識の高まりにつながっていると感じます。 ・危機管理の取組においては先進的な取組をされていて大変勉強になります。 ・教師の訓練の仕方など、立花小学校でも検討したいと思います。 ・先生方が訓練を通して、町内の防災について熟知されているのではないかと思います。中学生の意識も高まり、一層頼りになる存在になっているように感じます。
	2 学校の危機管理マニュアルを理解し、適切に対応するよう心がけている。	3.1	0.1	3.0	3.5			
	3 ホームページや新聞記事に気を配り、最新の情報をつかみ指導に役立てようと努力している	3.4	0.2	3.2	3.5			
	4 通信等で自助・共助・事前防災・縮災などのキーワードを使い、安全文化を大切にしている意識を高めている。	3.2	0.3	2.9	3.6			
	5 総合的な学習の時間に、自助・共助・事前防災・縮災などの視点から活動することができている。	3.4	0.6	2.8	3.5			
	6 避難訓練に積極的に参加し、事前防災や小学校との連携などテーマに沿って実施している。	3.1	0.6	2.5	3.5			
	7 自助・共助の精神や能力を育む教科指導を行っている。	3.3	0.1	3.2	3.5			
学びの共同活動	8 教科担任として学習の規律(チャイム席・黙想・挨拶・姿勢等)をきちんと指導している。	3.6	0.0	3.6	3.7	3.4	3.8	4 適切である 3 概ね適切である 2 適切でない部分が目立つ 1 根本的な改善が必要 ・UDを意識した授業・プリント・考査問題作成、授業改善を図ることなど、これからも学習&授業のさらなる改善が、新宮東中学校で学ぶ生徒たちの大きな励みになると思います。 ・上級生が下級生の指導にあたるのは、同じ東中の生徒として好ましいことだと思います。 ・コロナ禍においても常に学びを止めない活動の充実を進めてくださり、町全体のモデルを示していること大変ありがたいです。指導要領全面实施において内容についても全体で確認していただき、学びが広がっていく「振り返り」の充実をお願いいたします。 ・コロナ禍の影響もあり、休校期間や授業時間の短縮などこれまでの教育活動とは大きく異なる対応を迫られたと思います。その中で生徒や家庭との「つながり」「やりとり」を取り戻すこと、「つなぎ直すこと」「心の居場所をつくること」が共同活動の中で重要だと思います。 ・今年は参観の機会も少なかったのですが、明るい雰囲気の中、先生方の準備された資料は、素人でも分かりやすくまとめられており、改めて毎日大変大変だろうと頭が下がります。
	9 授業中視覚的にも授業内容を理解できるように板書は整理して記入するようしている。	3.3	0.2	3.1	3.2			
	10 ユニバーサルデザイン(UD)を意識した授業づくり、プリント・考査問題作成に取り組んでいる。	3.4	0.1	3.3	3.8			
	11 活用問題を意識した定期考査を作成し、それを通して授業改善を図っている。	3.1	0.3	2.8	3.7			
	12 「聴く」「つなぐ」「もどす」を意識して授業を行っている。	3.1	0.3	2.8	3.0			
	13 協働的な解決に向けて、話し合い活動では考えの共有化(焦点化・可視化)等意識して実践している	2.9	0.3	2.6	2.7			
	14 生徒の学習内容のまとめ、目的・方法の振り返りを、時間を確保し実践している。	2.8	0.1	2.7	3.2			
異学年ブロック活動	15 ブロック活動に積極的に取り組み、縦と横のバランスのよい繋がりを意識して指導にあたっている	3.1	0.4	2.7	3.5	3.6	3.8	4 適切である 3 概ね適切である 2 適切でない部分が目立つ 1 根本的な改善が必要 ・いろいろな制約にもかかわらず、諸先生・各生徒・地域ボランティアの皆様の結束でさまざまな行事「竹灯籠」「文化発表会」「体育会」などが今年度もここまで異学年ブロック活動として開催・実施できたことがよかったです。これらの経験は生徒同士や先生・生徒との思い出として中学校生活を過ごす上で深いつながりになったと思います。感謝します。NO. 20の質問の自己評価が2点台なのが気になります。評価アップの取組、工夫はありますか？ ・生徒自身が学校を創る一人であることを自覚して日々、取り組んでいることが伝わってきます。今後も子どもたちの声を大切にしてください。先生方が支え、導いていただきますようお願いいたします。R3の行事についても町のモデルとなる感染対策を示していただきますようお願いいたします。 ・生徒会、各専門委員長を中心に統率がとられており、互いを認め合う雰囲気があると思います。今後もさらにこの活動を推進してほしいと思います。 ・行事が難しい中、行っていただけてとてもありがたいです。 ・多くの学校で体育祭が中止になる中、決行したことにより、今年の3年生もリーダーとしての経験を積むことができました。感謝の気持ちを例年よりたくさん抱いていることだと思います。
	16 自己有用感を実感し、協働性を育むためにブロック黙働掃除に積極的に取り組んでいる。	3.6	0.1	3.5	4.0			
	17 不登校の未然防止のため、他の職員と情報を共有し、家庭との連携を図っている。	3.3	0.0	3.3	3.8			
	18 いじめの未然防止・早期発見に積極的に取り組んでいる。	3.6	0.1	3.5	3.5			
	19 リレーション活動を積極的に推進し、生徒の人間関係づくりに努力している。	3.0	0.5	2.5	3.0			
	20 同じブロックの先生方と情報交換を行い、ブロック活動が組織的に動くよう意識して行動している。	2.9	0.3	2.6	3.5			
21 異学年ブロック活動を通して、生徒の自己有用感を実感させる声かけをするように働きかけている。	3.2	0.3	2.9	3.5				
人権・同和教育	22 生徒の実態や生活背景をつかんだ指導を実践一人一人を大切に指導している。	3.3	0.1	3.2	3.3	3.2	3.4	4 適切である 3 概ね適切である 2 適切でない部分が目立つ 1 根本的な改善が必要 ・コロナ禍の中、授業時間が不足し、大変なことと思います。一方、先生や生徒のみなさんのコロナによる不安やストレスを考えるとこういふときこそ、心の教育の時間が大切かなと思いました。本当に厳しい状況の中での学校運営に敬意と感謝を申し上げます。 ・ヤングケアラーに関する実態調査と手を差し伸べる取組をCS活動にも関連して、今後もよろしくお願ひします。 ・いじめ不登校が0になればいいかと思います。 ・R2において「いじめゼロサミット」を中学校区においてチャレンジしていただきありがとうございます。R2のまとめからR3では年間を見通した取組の充実をお願いいたします。 ・差別的な発言など、日本や世界各地で見受けられますが、解消するには日々の地道な教育しかないと考えています。社会教育としても可能な限りの方策をとりたいと思っていますし、連携していきたいと考えています。 ・人権同和教育は教員だけで行うのではなく、生徒相互にも助長できる雰囲気作りが大切だと思います。「共助」の意識をもって生活を送っていることが、まさに人権教育だと思います。 ・言語文化のあいさつの励行等、頼もしく、すがすがしい姿を見ることができました。道徳科の授業の充実をさらにはかっていただきたいと思います。 ・小中合同サミットで人権について考えさせることができました。 ・適切な授業時間も確保できない中、道徳時間の確保は難しかったと思います。生徒へのメンタル的な支援も大変だったのではないかと推察します。強く生きぬくことを私たちが伝えていきたいです。
	23 生徒との信頼関係を築くために、カウンセリングマインドを大切に教育相談を行っている。	3.4	0.3	3.1	3.4			
	24 生徒指導の機能(自己決定・共感的人間関係・自己存在感)を意識した授業に取り組んでいる。	3.1	0.1	3.0	3.1			
	25 道徳は時間を確保し同一歩調の教材で計画的にすすめることができている。	2.6	0.0	2.6	2.6			
	26 いじめゼロ宣言と学級の漢字一文字を意識した教育活動を行っている。	3.0	-0.1	3.1	3.0			
	27 自尊感情や自己有用感を実感させるために、朝の会・帰りの会を充実するよう努めている。	3.0	0.0	3.0	3.0			
	28 元年度よりも生徒に対する言葉づかいに気をつけ、言語文化を大切にしている意識を高めている。	3.4	0.2	3.2	3.4			
	29 生徒会活動(委員会活動)において生徒の参画意識や自主性を高めるよう援助している。	3.1	0.0	3.1	3.1			3.2
30 総合的な学習の時間は、生徒の主体的な活動になるよう、計画的に運営している。	3.0	0.1	2.9	3.0				
31 区友会や夏祭りに対して生徒の積極的参加を促し、地域・家庭との連携を深めようと努力している。	2.4	0.0	2.4	2.4				
32 マナー・モラル等、適切な言語文化、社会的規範を高める指導を常に心がけている。	3.3	0.1	3.2	3.3				
33 活動を行う際、安全点検を行い、生徒の安全を確保するよう心がけている。	3.2	0.1	3.1	3.2				
34 時間を守ることや、身の回りの整理・整頓など基本的な生活習慣の指導を徹底している。	3.4	0.0	3.4	3.4				
35 給食をバランスよく食べる活動を行い、残食0をめざすよう努めている。	3.5	0.2	3.3	3.5				

